

小学校 第3学年 社会科 学習指導案

東京学芸大学附属小金井小学校
教諭 渡辺 将史

単元名 火事からまちを守る (9時間)

**単元の
ねらい**

- 消防署の働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 消防署など関係機関の相互の関連や、人々の生活との関連、そこに従事する人々の働きについて考え、考えたことを表現する力を養う。
- 消防署の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養う。

**本時の
ねらい**

学校での避難訓練を想起し、市内の消防署の分布図を読み取ることを通して、消防署が市内に多数ある理由を考える。(第1時)

指導時期 10月上旬～11月中旬

指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

本単元の導入では、火事という社会的事象を児童に身近に感じさせ、問題意識をもたせることが重要である。そこで大切になるのが、児童が問題意識をもつことができるような資料提示をすることである。紙の教科書では、教科書を開くと見開きページに掲載されている全ての資料や文章が児童の目に入ってしまい、視点が拡散してしまっていた。また、消防署や消防出張所の配置図について、紙の教科書では、すでにどこにあるか示されており、児童が思考する活動を行いにくい側面があった。「指導者用デジタル教科書(教材)」を使用することで、全体で共有したい資料を拡大したり、資料を見る視点を焦点化させたりすることが期待できる。また、児童の思考を促す発問が行いやすくなると考えられる。

本時(第1時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 ● 学校で実施した避難訓練の体験を振り返り、話し合う。 【ア 学校でのひなんくんれんの様子】を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ■：火事を想定して行った避難訓練では、どんなことに注意していましたか。 ◎：「おかしも」を意識して避難した。 ◎：火事では煙が出ているかもしれないから、ハンカチで口や鼻を覆った。 	<p>デジタル教科書・教材の活用</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 【ア】の写真を提示し、児童が発言した部分を、ペン機能を使って囲むと、全体で視点を共有することができる。 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<p>T：実際に火事が起きてしまったらどうなるのでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>火事が起きたらどうなるのか、みんなで想像してみよう。</p> </div>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の消防署や出張所などの写真や分布図を見て、それらの場所がどこにあるか確かめる。 T：火事が起きた時に、消火にあたってくれるのは誰でしょうか。 ◎：消防署の人たち。 ◎：地域の消防団の人たちも動いてくれる。 <p>【ウ 消防しょのたてもの】や【エ 出動する消防自動車】の写真を見て、消防署やそのはたらきに興味をもたせていく。</p>   <p>T：消防署が市内のどこにあるか調べてみましょう。</p> <p>【イ 横浜市の消防しょ・消防しゅっちょう所のある場所】の分布図を見て、分布の特徴を捉える。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ◎：全ての区に消防署がある。 ◎：区の中でもいろいろな場所にある。 <ul style="list-style-type: none"> ● 消防署や出張所が市内に多数ある理由を考え、話し合う。 ◎：区の端の方で火事が起きた際にもすぐ駆けつけられるようにするため。 ◎：火事が起きた時にすぐ駆けつけられるように、あちこちに消防署が散らばっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 【ウ】の資料から消防署の前が空き地になっている（建物がなく道路に面している）ことや、消防自動車が前向きに停まっていることなどに疑問をもたせ、次時の学習問題づくりへとつなげる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 【p.97 イ_操作】のコンテンツを活用し、「消防しょ」「しゅっちょう所」の数や位置を予想させ、凡例別に示すことで、分散配置されていることに気づくことができるようにする。  <ul style="list-style-type: none"> ● 【イ】の分布図と具体的な火事の発生現場を想定し、空間的な見方をはたらかせて考えることができるようにする。

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時のまとめを考えるとともに、疑問に思ったことや調べていきたいことを記述する。 ◎：消防署の前の道が広がっているのはなぜだろう。 ◎：消防自動車にはどんな秘密があるのか調べてみたい。 	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 火事がどこで起きててもすぐ駆けつけられるよう、消防しょは、市内の区ごとにおかれている。 </div>		

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

【指導者用デジタル教科書(教材)の指導者へのメリット】

これまで【イ】の操作コンテンツで表示されるような資料を、教員は時間と労力をかけて作成していた。「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用することで授業準備が簡易化される。また、【イ】の資料では、消防署と出張所が凡例別に示されることで、分散配置の社会的な意味について、学級全体で資料の見方を確認し、児童が考えやすいように提示することができる。

【指導者用デジタル教科書(教材)の学習者へのメリット】

必要な情報だけを整理しながら資料を読み取ることができる。特に支援を要する児童にとっては、【イ】の資料について、消防署と出張所の情報がまとめて載っていると、その特徴を読み取るのが難しいことが予想される。そこで、「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用することで、消防署と出張所が順に提示されるので、情報を整理して考えることができる。

【指導者用デジタル教科書(教材)を活用する際の留意点】

①ペン機能を使って資料【ア】の視点を全体で共有する。

- ：火事を想定して行った避難訓練では、どんなことに注意していましたか。
- ◎：火事では煙が出ているかもしれないから、ハンカチで口や鼻を覆った。



児童が発言した内容が、資料のどこを指しているのかを、ペン機能を使用し明確にすることで、学級全体で視点を共有し、話し合いを進められる。

②資料【イ】の操作コンテンツを活用し、「消防しょ」「しゅっちょう所」の数や位置をクイズ形式で凡例別に提示する。

- ：消防署が市内のどこにあるか調べてみましょう。
- ◎：全ての区に消防署がある。
- ◎：区の中でもいろいろな場所にある。



初めに「消防しょ」の数を予想させ、各区に1つしかないことを確かめる。次に「消防しょ」が各区に1つしかないことのデメリットを考え、「しゅっちょう所」の位置や数を予想し、提示する。

【指導者用デジタル教科書(教材)の継続利用におけるメリット】

社会科の見方・考え方を指導者が意識し、「指導者用デジタル教科書(教材)」の機能に搭載されている「拡大画面表示」や「思考ツール」等を継続して活用することによって、学級全体で社会科の見方・考え方が定着する。また、豊富な「動画コンテンツ」や「めくり紙機能」等を使用することで、児童が社会的事象に対する問題意識を高め、主体的に問題解決学習に取り組むことができる。